



各エリアの取り組み状況と 今後の展望

～ 大阪駅周辺地区 ～

大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域
都市再生緊急整備協議会幹事会資料

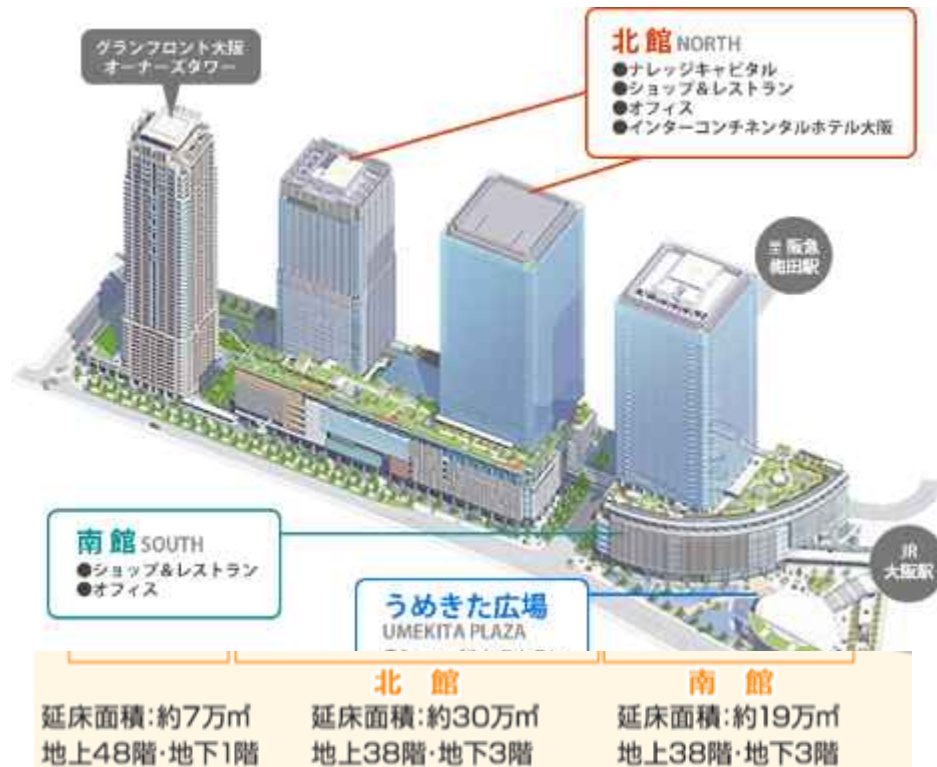
うめきたのまちづくりについて



うめきたのまちづくりの経緯

	全体に関すること	
	先行開発区域に関すること	2期区域に関すること
2002年 7月	都市再生緊急整備地域に指定	
2002年 9月	大阪駅北地区国際コンセプトコンペの実施 (2003年3月結果公表)	
2004年 3月	「大阪駅北地区まちづくり推進協議会」の設立 (経済界、学識、行政などで構成)	
7月	「大阪駅北地区まちづくり基本計画」の策定	
12月	土地区画整理事業、道路、駅前広場の都市計画決定	
2006年 2月	地区計画、用途地域等の都市計画決定 開発事業者募集の開始 (主催者:都市再生機構、鉄道機構)	
5月・11月	開発事業予定者の決定	
2008年 2月	地区計画、都市再生特別地区の都市計画決定	
2010年 3月	工事着工	
2011年 4月		土地区画整理事業、道路、都市高速鉄道、駅前広場の都市計画決定
2012年 1月	特定都市再生緊急整備地域に指定	
2012年 9月	「大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会」の設立 (経済界、学識、行政などで構成)	
2013年 4月	グランフロント大阪 開業	
2013年10月		うめきた2期区域開発に関する民間提案募集の実施 (2014年3月 優秀提案の決定)
2015年 3月		「うめきた2期区域まちづくりの方針」を策定
2016年 4月		イノベーション拠点のテーマ 「ライフデザイン・イノベーション」に決定
2017年1月		地区計画、用途地域等の都市計画決定

うめきた先行開発区域概要 —グランフロント大阪—



都市再生への貢献（主な公共貢献要素）

- ① ナレッジキャピタル機能など
- ② オープンスペースや公共的空間の確保
- ③ 歩車分離の歩行者ネットワーク
- ④ 建物中層部の庭園整備と一般開放 等

容積率の緩和

800% ⇒ 1,600%

600% ⇒ 1,150%



ナレッジサロン:
ビジネスマン、研究者、クリエイターなど、
多彩な才能が集う会員制サロン



ナレッジプラザ:
まちの中核施設「ナレッジキャピタル」
の中心に位置する吹き抜け空間。新たな
文化・情報を発信

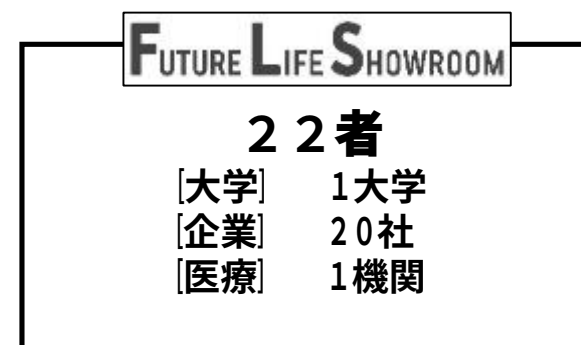
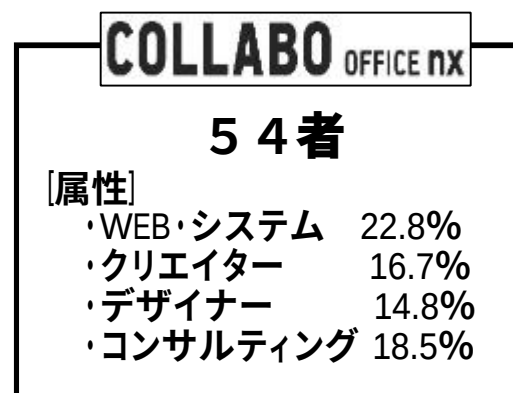
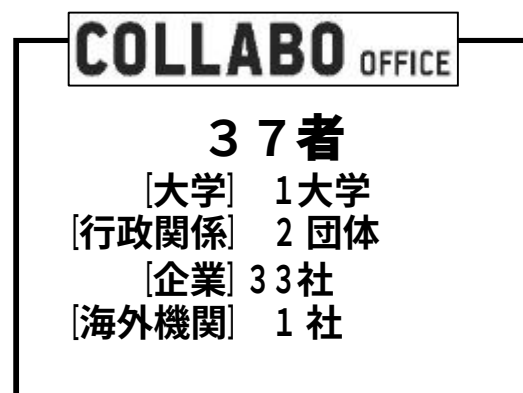
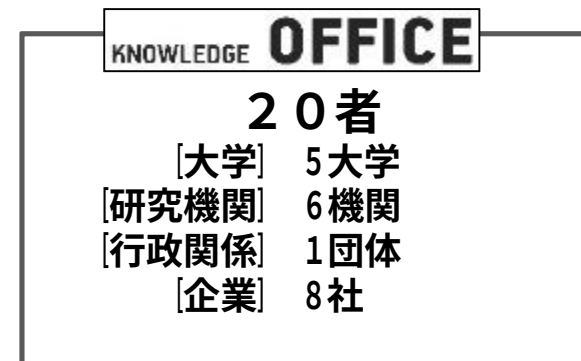
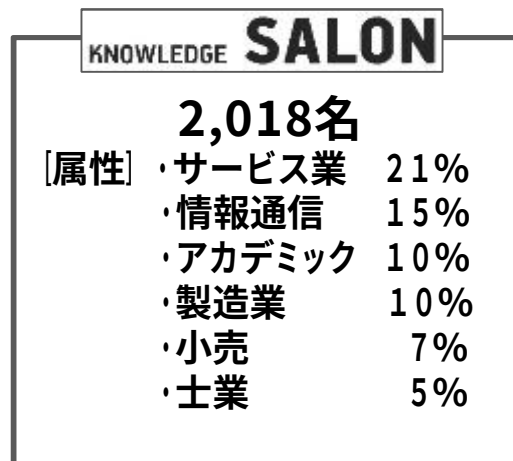
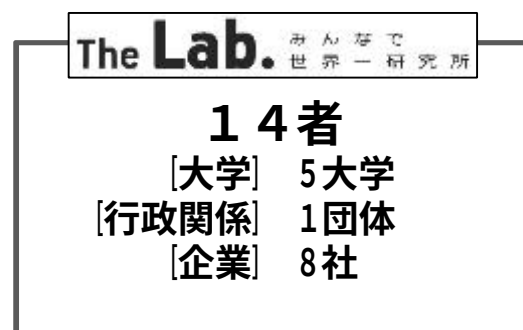


The Lab. :
ナレッジキャピタルに集まる新しい価値を発信
する来場者参加型の展示空間

知的創造拠点ナレッジキャピタル 4年間の活動成果

■ナレッジキャピタル 主な施設の参画者数 (2017年3月末時点)

総参画者は147者 (サロン会員は除く)



知的創造拠点ナレッジキャピタル 4年間の活動成果

■ナレッジキャピタルから生まれたプロダクト (例)

- The Lab.に参画し、電気自動車の「トミーカイラZZ」を開発・販売する京大発ベンチャーG L M(株)が、総額30億円の資金調達を達成。次世代EVコンセプトカーをパリモーターショーに出展
- ナレッジサロンでの出会いをきっかけに、(株)ミッドウェーソフトウェアデザインズが人工無脳ロボット雪丸(聖徳太子の愛犬)と生徒だけで運用できる小学校図書システムを開発。「子どもの読書活動優秀実践校」の京都聖母学院小学校や公立図書館にて稼働中。
- (株)アシックスとロート製薬(株)が、下北沢病院を研究拠点として、足部に障害や機能低下のある人用のウォーキングシューズやスキンケア商品の開発を推進



一般社団法人 グランフロント大阪 TMOの活動

【巡回バス・イベント等】

A 自主財源で行う事業

巡回バスなど

うめぐるバス～梅田地区を約30分で巡回



運行時間/10:00～21:00
運行間隔/10分～12分
運賃/100円(小児50円)
1日乗車券/200円(同100円)
コンパスシステムでロケーション情報をリアルタイム配信

うめぐるチャリ～30台のレンタサイクル



設置場所/うめきた広場
利用時間/貸出8:00～20:00
返却24時間可能
料金/最初の1時間100円
以降1時間毎100円
カード決済可能
台数/30台
(うち15台は電動アシスト)

イベントなど

UMEKIKI MARCHE



梅田ゆかた祭り



UMEPIC PARK



つるんつるん(アイススケート)



【都市利便増進施設※の管理】

B 自主財源で行う事業

オープンカフェ・広告の管理

オープンカフェ



バナー広告



C 分担金で行う事業

歩道空間の管理

施設の点検



清掃



放置自転車対策



巡回



※協定に位置付けられた都市利便増進施設にかかる道路占用料について免除

エリアマネジメント活動促進制度の概要

- ◆平成26年4月 「大阪市エリアマネジメント活動促進条例」を施行
- ◆平成26年7月 グランフロント大阪TMOを都市再生推進法人に指定
- ◆平成27年4月 「大阪版BID制度」適用開始

【基本スキーム】

制度の要素項目	大阪市エリアマネジメント活動促進条例 (都市計画法・都市再生特別措置法・地方自治法をパッケージ化)
BID団体の公共的位置付け	都市再生特別措置法で定める「都市再生推進法人」
BID団体の法人形態	一般社団法人
BID財源の徴収・交付方法	都市再生特別措置法で定める「都市利便増進協定」により、都市利便増進施設の管理等の費用負担の方法等を決定。地権者からの財源の徴収は地方自治法で定める「分担金制度」を活用。都市再生推進法人に対しては、補助金として交付。
道路占用	道路の維持管理に協力することを条件に、都市利便増進施設の占用料については全額免除。

【課題】

- ◆分担金の使途が、営利を目的としない公共的な事業に限定される
- ◆収益事業等は自主財源に依らざるを得ないが、自主財源確保に対する税制優遇が弱い

一 基盤整備事業一

**JR東海道線支線地下化事業（連続立体
交差事業）及び新駅設置事業**

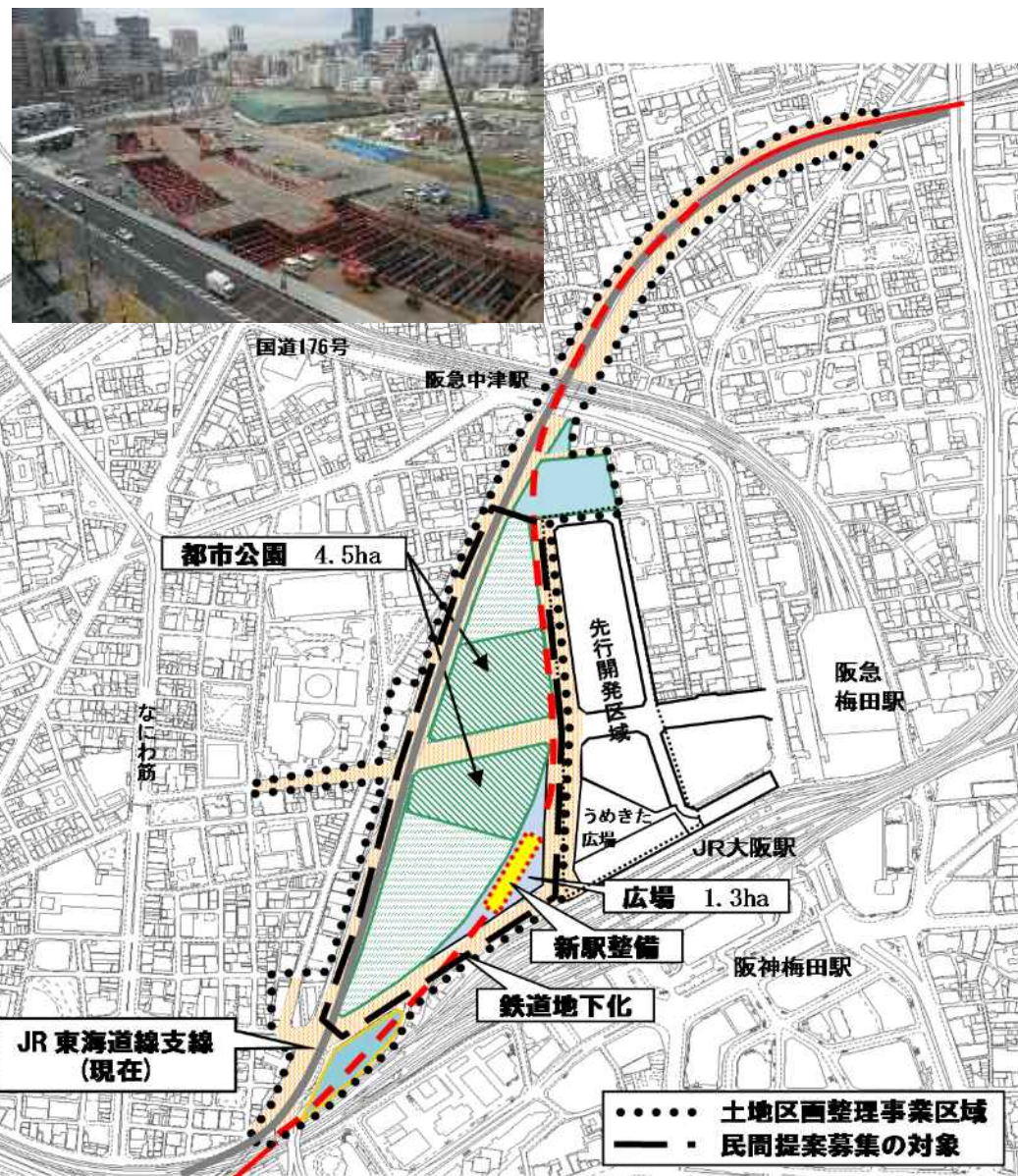
- 地域分断の解消及び踏切除却による交通の円滑化
- 関西国際空港への移動時間短縮
(現状66分→約20分短縮)
- 事業主体：大阪市（地下化）
JR西日本（新駅）
- 事業期間：H26年度～H35年度

土地区画整理事業

- 民間開発の基盤となる道路・広場等の整備
- 事業主体：UR都市機構
- 事業期間：H27年度～H38年度

防災公園街区整備事業

- 防災機能を備えた緑豊かなオープンスペースの確保による高質な都市空間の演出
- 事業主体：UR都市機構
- 事業期間：H30年度～H38年度



うめきた2期まちづくりの方針

「みどり」と「イノベーション」の 融合拠点

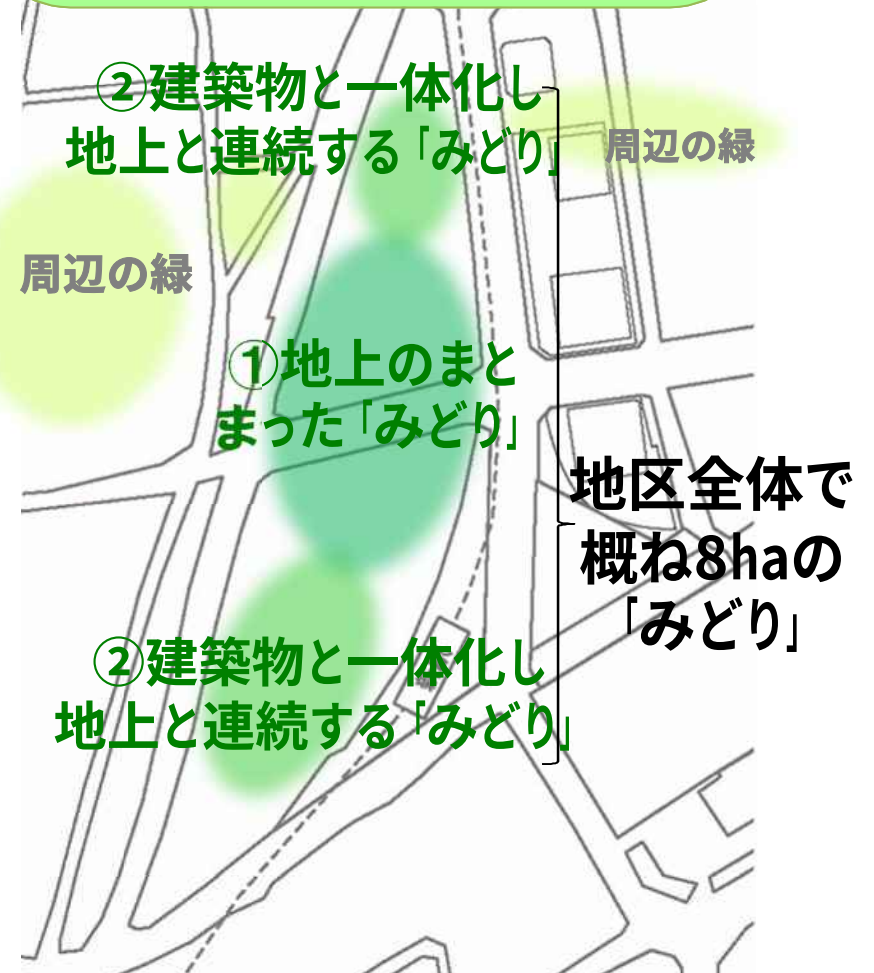
世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

まち全体を包み込む「みどり」が、ここにしかない
新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい
価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつ
ける。

新たな国際競争力を獲得し、
世界をリードする「イノベーション」の拠点

世界から人材、技術を集積・交流させ、新しい
産業・技術・知財を創造することで新たな国際
競争力を獲得し、世界をリードする「イノベ
ーション」の拠点。

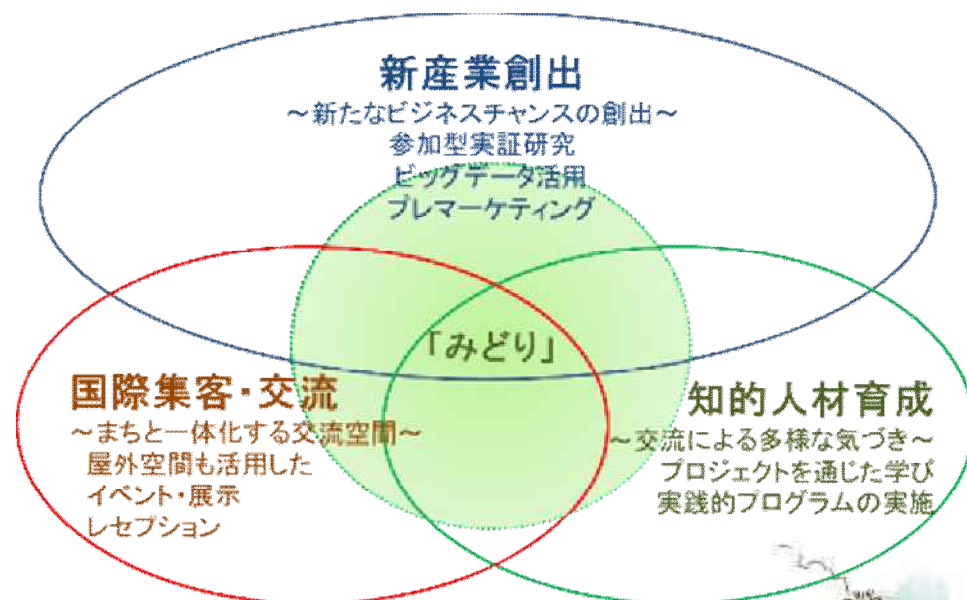
比類なき魅力を備えた 8 haの「みどり」



「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

～ 都心の「みどり」からイノベーションを創出 ～

- 「みどり」を楽しむ、多様な人々の往来・交流によりイノベーションを誘発
- 都心だからできる実証実験、マーケティング、広報・展示の機会を創出



3つの中核機能

イノベーション拠点のテーマ

「ライフデザイン・イノベーション」

「みどり」が“触媒”となって機能し、IoTやビッグデータなど、先進的な技術を有効に活用することで、新しい製品やサービス、ビジネスを創出し、私たちの豊かな生活(QOL)を実現します。



まち全体の一体的なエリアマネジメントの実現



まち全体の一体的な利活用による、新たな賑わいの創出とエリアのブランド力の向上

- ✓ 地区中央の都市公園や民間敷地の「みどり」、周辺の歩道等の一体的な管理・利活用を実現し、地区全体の賑わいを創出。エリアのブランド力向上につなげる
- ✓ 2期エリアマネジメント団体が、都市公園を含めたまち全体の管理・利活用を行うなど、新たなエリアマネジメントの実現をめざす

持続的发展をめざしたエリアマネジメント

- ✓ 「みどり」を中心とした公共空間等の一体的な管理運営に、防災・環境面での取り組みなども組み込み、安定的な財源確保等による自律的・持続的で質の高い管理運営を行う
- ✓ 将来的なまちの変化とあわせて、エリアマネジメントにも可変性を持たせ、持続的に発展させる管理運営を行う

うめきた2期の想定スケジュール



※スケジュールは民間開発事業者の提案内容等によって、変更になる場合があります